

# 就職につながる 「IT分野の職業訓練（求職者支援訓練）」を受講しませんか

就職活動に生かせる様々な訓練コースがあります

受講料無料

初心者OK

就職支援充実

就職に役立つ資格取得



就職率

57.5%

男女別受講割合

男性 64.5%

女性 35.5%

年齢別受講割合

10～20歳代 43.7%

30～40歳代 49.3%

50～60歳代 7.0%

(数字はすべて令和2年度実績)

## 訓練修了生の声

未経験者

でも大丈夫

他業種

からの  
転職も

託児

サービス付き  
のコースも

訓練が始まって最初の頃の授業で、「なぜこのIT技術が使われるようになったのか」や「IT業界のトレンドの移り変わり」などのITに関する全体像を学びました。おかげで、その後の授業で出てくるJavaやRPA（Robotic Process Automation/ロボットによる業務の自動化）が実際にどのような場面で活用されているのかをイメージしながら勉強できたのが良かったです。また、訓練を受講したことで、IT業界で働くために何を学んだらいいのか、どのような資格が必要なのかを知ることができたのも良かったです。（RPAプログラミング科（訓練期間3か月）修了生）

プログラミングについて全く分からないところから、4か月という短期間でたくさんのお話を教えていただいたこと、また、その機会をいただいたことに感謝しています。講師の方には、キャリアコンサルティングを通じて、自信を失いそうになった自分の背中を押していただいたことに感謝しています。（基礎から学ぶプログラミング科（訓練期間4か月）修了生）

※ 訓練コース例は裏面をご覧ください

## ▶ 受講の申し込みはハローワークへ！

- 要件を満たす場合、**求職者支援制度の生活支援の給付金（月10万円）**を受けながら、訓練を受講することができます。
- 訓練開始前から、訓練期間中、訓練終了後まで、ハローワークが就職活動をサポートします。
- IT分野等の民間資格等の取得を目指すひとり親の方には、要件を満たす場合、**高等職業訓練促進給付金**を支給します。詳しくは、お住まいの都道府県・市区町村にご相談ください。

全国ハローワークの所在地・連絡先



求職者支援制度のご案内

求職者支援訓練



令和5年3月末までの特例として、働きながら訓練を受けて社内での正社員転換などを目指す方や、今の仕事に役立つ能力を身に付けようとする方なども受講対象者となります。

# 訓練コース例

コース	<ul style="list-style-type: none"><li>・スマートフォンアプリケーションプログラマー養成（Java言語）科</li><li>・WEBアプリケーションプログラマー養成科</li><li>・ソフトウェアプログラマー養成（Python言語）科</li><li>・ネットワークエンジニア科 など</li></ul>
内容	ハードウェア、ソフトウェア、プログラミング言語などの知識を学びます。ソフトウェアの構造設計や、基本設計書に基づいたソフトウェアの開発ができることを目指します。 コースによっては機械学習やAIなどを学びます。
目指せる資格試験	<ul style="list-style-type: none"><li>・PHP技術者認定試験</li><li>・Oracle Certified Java Programmer</li><li>・Javaプログラミング能力認定試験</li><li>・基本情報技術者試験 など</li></ul>
就職先	WEB開発会社、ソフトウェア開発会社、ソーシャルゲーム会社 など

- ・受講料はテキスト代などの実費を除き無料です。
- ・受講者の方、お一人につき一台、パソコンをご用意しています。

## IT分野で働くには何を習得すべき？

### 必要なスキル

プログラミング言語の習得は非常に重要なスキルです。コンピューターに指示を与える「プログラミング」で使用する「プログラミング言語」（例：Java、Python、PHP、JavaScript）を習得すると、スマートフォンアプリやWEBアプリの開発などができるようになります。

### 資格取得の重要性

ITスキル標準※に対応した資格試験に合格すると、就職・転職活動に有利です。求職者支援訓練は、IT分野の訓練コースの約6割が、ITスキル標準「レベル1」以上の資格試験の合格を目指す訓練内容（令和2年度実績）となっています。

※各種IT関連サービスの提供にあたって必要とされる能力の指標（ものさし）として経済産業省が策定した「ITスキル標準（ITSS）」が活用されています。このITスキル標準には、7段階のレベル（レベル1～レベル7）が設定されています。

### 具体的な資格

ITエンジニアの登竜門として「基本情報技術者試験」が一般的に挙げられます。情報処理の促進に関する法律に基づき経済産業大臣が実施する国家試験で、ITスキル標準の「レベル2」に対応します。令和2年度の受験者数は約5.3万人、合格率は約48%です。（独立行政法人情報処理推進機構「情報処理技術者試験統計資料」）

- IT分野以外にも、事務分野、デザイン分野、介護・医療福祉分野、理容・美容関連分野など、希望職種に応じた様々な訓練コースがあります。
- 育児等と両立しやすい、訓練期間が1か月未満のものや、1日の訓練時間が3時間程度の短期・短時間特例訓練コースもあります。
- 託児サービスの利用が可能なコースもあります。
- オンラインによる受講が可能なコースもあります。

## 各地域の求職者支援訓練の募集案内（ハロートレーニング）はこちら

お住まいの地域で募集している求職者支援訓練の情報をご覧になれます。

